

著者紹介

大手 信之 Ohte Nobuyuki

名古屋市立大学大学院医学研究科臨床病態内科学（第三内科）講師、名古屋市立大学病院CCU室長兼務、医学博士。昭和56年3月名古屋市立大学医学部卒業、名古屋市立大学医学部第三内科入局、昭和57年4月名古屋市立大学大学院医学研究科入学、昭和61年3月同修了（医学博士）、昭和61年7月名古屋市立大学医学部第三内科助手、平成6年11月Cardiology Section, Bowman Gray School of Medicine of Wake Forest University (William C. Little教授)へ留学、平成9年4月名古屋市立大学第三内科講師、平成9年8月名古屋市立大学病院CCU室長兼務、平成14年4月名古屋市立大学大学院医学研究科臨床病態内科学講師（機構改革による）。
 専門分野：循環器内科学。
 研究歴：心臓力学、超音波エコードップラー法を利用した心機能、血流動態の解析、ポジトロンCTによる心筋代謝の研究。
 所属学会：日本循環器学会、日本心臓病学会、日本心エコー図学会。

岡村 正造 Okamura Shozo

豊橋市民病院消化器内科部長、医学博士。昭和51年名古屋大学医学部卒業、昭和51年4月から名古屋掖済会病院にて研修、昭和52年5月2日名古屋第一赤十字病院内科医員、昭和55年6月22日藤田学園保健衛生大学伊藤内科助手、昭和57年1月1日名古屋大学医学部第2内科兼愛知県総合保健センター医長、昭和59年4月1日豊橋市民病院医長、平成3年4月1日より消化器内科部長。
 研究歴・専門分野：上・下部消化管疾患の診断と治療。
 所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本消化器内視鏡学会。

上田 公介 Ueda Kousuke

名古屋市立東市民病院泌尿器科部長、名古屋市立大学医学部臨床教授、医学博士。昭和45年3月名古屋市立大学医学部卒業、昭和45年4月伊勢市亀谷病院（現・伊勢慶応病院）にて外科研修医、昭和46年4月名古屋市立大学医学部泌尿器科教学室入局、昭和47年同助手、昭和48年8月安城更生病院勤務、昭和54年1月名古屋市立大学医学部助手、昭和56年7月同専任講師、昭和56年10月同助教授、平成12年4月名古屋市立東市民病院泌尿器科部長、平成13年4月名古屋市立大学医学部臨床教授、現在に至る。
 研究歴・専門分野：前立腺腫瘍が産生する前立腺成長因子の同定、膀胱癌に対する粘膜付着性抗癌剤の

研究、hydroxypropylcellulose adriamycinと温熱との併用効果。

所属学会：日本泌尿器科学会、日本癌治療学会、日本泌尿器科学会評議員、日本ストーマリハビリテーション学会、日本癌学会、国際泌尿器科学会、愛知県がん・成人病予防部会専門委員、日本小児泌尿器科学会、日本ハイパーサーミア学会理事、和漢医薬学会、日本バイオセラピー学会。

林 吉夫 Hayshi Yoshio

林内科クリニック院長、医学博士。昭和48年同志社大学文学部心理学専攻卒、昭和54年聖マリアンナ医科大学卒業、同年九州大学医学部心療内科入局、昭和61年小倉市立病院糖尿病センター、昭和62年三菱名古屋病院健康管理科医長、昭和63年林内科クリニック院長
 研究歴：主に内分泌代謝疾患（とくに甲状腺疾患）の心身医学的側面の研究。専門分野：心身医学、森田療法。
 所属学会：日本心身医学会、日本心療内科学会、森田療法学会。

塚田 勝比古 Tsukada Katsuhiko

NTT西日本東海病院・副院長、医学博士。昭和46年4月名古屋市立大学第一内科研究医、昭和47年3月岐阜県立多治見病院内科医師、昭和51年9月名古屋市立大学第一内科助手、平成元年1月同講師、平成8年1月NTT西日本東海病院内科部長、平成13年4月同副院長。
 研究歴・専門分野：アルコール性肝障害の発生機序、ウイルス性慢性肝炎の病態と治療、アルコール性肝疾患の治療（消化器の分野の肝疾患の病態と治療について専攻している）。
 所属学会：日本内科学会、日本消化器病学会、日本肝臓学会。

浅野 喜造 Asano Yoshizo

昭和44年3月名古屋大学医学部医学科卒業、4月名鉄病院外科勤務医師、5月医師免許取得、昭和45年4月トヨタ病院小児科勤務医員、昭和47年3月名古屋大学医学部小児科学教室にて研究に従事医員、48年11月社会保険中京病院小児科勤務医員、昭和52年4月大阪大学微生物病研究所麻疹部門（奥野良臣教授）研究生（谷口奨学生）、昭和53年1月医学博士（名古屋大学）論医博第748号、53年3月同上勤務（高橋理明教授）文部教官助手、昭和54年4月藤田保健衛生大学小児科勤務（矢崎雄彦教授）講師、昭和55年10月同上休職、米国FDA, Bureau of Bi-

ologics, Division of Virology (Drs. FA Ennis & Paul Albrecht) にて研究に従事 Visiting Scientist、昭和57年10月藤田保健衛生大学復職、昭和60年10月同上休職、米国FDA, Center for Drugs and Biologics, Office of Biologics Research and Review, Division of Virology (Dr. Gerald V. Quinnan, Jr.) にて研究に従事 Visiting Scientist、昭和61年10月藤田保健衛生大学復職、63年3月藤田保健衛生大学小児科助教授、平成6年12月同上教授、現在に至る。

研究歴・専門分野：水痘ワクチンの臨床研究、水痘带状疱疹ウイルスの基礎的研究、水痘带状疱疹ウイルス抗原分析、水痘及び水痘ワクチンの猿感染実験、AIDS動物実験などの研究。

所属学会：日本ウイルス学会評議員・理事、日本ワクチン学会理事、日本臨床ウイルス学会幹事、日本小児科学会評議員、日本感染症学会評議員、日本小児感染症学会幹事、日本小児保健学会理事、米国微生物学会、日本小児科学会東海地方会幹事・理事

小林 一弘 Kobayashi Kazuhiro

岩屋病院、昭和62年浜松医科大学卒業、平成元年同精神科助手、平成4年榛原総合病院精神科、平成7年浜松医科大学精神科助手、平成9年岩谷病院。

専門分野：精神医学。

所属学会：日本精神神経学会、日本犯罪学会